



平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日

上場取引所 東大

上場会社名 ホソカワミクロン株式会社

コード番号 6277 URL <http://www.hosokawamicon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田清巳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経理本部本部長 (氏名) 井上鉄也

TEL 072-855-2225

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日

平成24年6月18日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	17,926	14.0	1,470	64.0	1,494	74.8	995	89.3
23年9月期第2四半期	15,726	9.1	896	—	855	—	525	—

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 1,622百万円 (111.2%) 23年9月期第2四半期 768百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	24.06	24.04
23年9月期第2四半期	12.70	11.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	41,743	20,843	49.9
23年9月期	39,039	19,403	49.7

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 20,838百万円 23年9月期 19,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	2.50	—	4.50	7.00
24年9月期	—	4.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	9.2	3,100	12.6	3,100	15.2	2,100	27.1	50.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期2Q	43,076,347 株	23年9月期	43,076,347 株
24年9月期2Q	1,694,742 株	23年9月期	1,691,078 株
24年9月期2Q	41,383,915 株	23年9月期2Q	41,387,591 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、家計や企業の活動は総じて堅調に推移しており、両者の動きを反映する雇用環境は順調に拡大し、緩やかな回復が継続しております。一方、欧州は債務問題が根本的な解決に至っておらず、南北格差からくる経済競争力や国際収支の域内不均衡が広がっております。アジアにおいては、欧州債務危機の影響による輸出鈍化の影響はありますが、インフレはピークアウトしてきており、各国中銀は政策の軸足をインフレ抑制から景気下支えへとシフトし、経済成長を支えています。日本は、昨秋以降の停滞を抜け震災の復興需要が内需を支え、米景気の復調や円高の一服で輸出も好転しつつあり、緩やかに回復し始めたようであります。

このような経済環境の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は233億1千6百万円(前年同期比10.1%の増加)、受注残高は195億5千7百万円(前年同期比30.8%の増加)、売上高は179億2千6百万円(前年同期比14.0%の増加)となりました。

利益面におきましては、期初の受注残高が多かったことによる増収効果に加え、高付加価値な新製品の寄与などにより、営業利益は14億7千万円(前年同期比64.0%の増加)、経常利益は14億9千4百万円(前年同期比74.8%の増加)、四半期純利益は9億9千5百万円(前年同期比89.3%の増加)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①粉体関連事業

当事業は、粉碎・分級装置、混合・乾燥装置及び日本市場においての大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置、精密空調制御装置等の製造販売、複合ナノ粒子を中心とした新素材開発とその商品化並びに微粉体受託加工サービスを提供するホソカワミクロングループの主力分野であります。二次電池などの電子材料向け及び食品市場向けなどの受注が堅調に推移したほか、期首受注残高が前年同四半期に比べ多かったことなどから、売上高は増加いたしました。

この結果、受注高は175億7千7百万円(前年同期比1.5%の増加)、受注残高は151億7千万円(前年同期比24.7%の増加)となり、売上高は142億7千1百万円(前年同期比8.4%の増加)、セグメント利益(営業利益)は18億4千1百万円(前年同期比23.4%の増加)となりました。

②プラスチック薄膜関連事業

当事業は、単層から多層の各種プラスチック高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売を行っております。

米国、欧州、アジア市場の活発な設備投資により受注高、売上高が大幅に増加しました。

この結果、受注高は40億4千5百万円(前年同期比51.6%の増加)、受注残高は30億6千8百万円(前年同期比43.6%の増加)となり、売上高は27億6百万円(前年同期比48.7%の増加)、セグメント利益(営業利益)は1億2千4百万円(前年同期は6千4百万円の営業損失)となりました。

③製菓関連事業

当事業は、欧米を中心にハードキャンディ、チョコレート、ベーカリーなどの製菓装置の製造販売、エンジニアリングを手掛けております。新興国市場での大型設備投資案件の受注により前年同期を大幅に上回り、また売上高の増加に伴い、ここ数年の赤字から脱却して営業利益を計上することになりました。

この結果、受注高は16億9千3百万円(前年同期比43.0%の増加)、受注残高は13億1千8百万円(前年同期比102.5%の増加)となり、売上高は9億4千8百万円(前年同期比28.7%の増加)、セグメント利益(営業利益)は1千5百万円(前年同期は6千3百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ、総資産は主に現金及び預金、たな卸資産の増加により27億4百万円増加し、417億4千3百万円となりました。

負債は主に支払手形及び買掛金、前受金の増加により12億6千4百万円増加し、208億9千9百万円となりました。

純資産は、主に為替が円安に振れたことにより為替換算調整勘定のマイナスが減少し、利益剰余金の増加などにより、14億4千万円増加し、208億4千3百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ10億2千8百万円増加し、73億3千6百万円(前年同期比33.5%の減少)となりました。各キャッシュ・フローの概要は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは15億8千4百万円の増加(前年同期比2億5千5百万円の減少)となりました。資金の増加要因として税金等調整前四半期純利益の増加、売上債権の減少、前受金の増加がある一方、資金の減少要因は、たな卸資産等の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは4億5千1百万円の減少(前年同期比1億1千9百万円の減少)となりました。主として有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは3億7千9百万円の減少(前年同期比17億4百万円の減少)となりました。主として長短借入金の返済、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月11日付「平成23年9月期決算短信」にて公表いたしました連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(平成24年5月11日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社は、当連結会計年度の税金等調整前四半期純利益（損失）に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じた税金費用を計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積の変更・修正再表示
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,360	7,388
受取手形及び売掛金	10,015	9,168
有価証券	99	99
製品	1,364	1,868
仕掛品	1,904	2,848
原材料及び貯蔵品	1,603	1,948
繰延税金資産	413	454
その他	752	1,217
貸倒引当金	△144	△159
流動資産合計	22,370	24,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,989	8,033
機械装置及び運搬具（純額）	1,485	1,521
土地	5,060	5,082
建設仮勘定	49	178
その他（純額）	402	424
有形固定資産合計	14,988	15,239
無形固定資産		
のれん	30	26
その他	348	330
無形固定資産合計	378	356
投資その他の資産		
投資有価証券	640	687
繰延税金資産	328	311
その他	347	330
貸倒引当金	△15	△18
投資その他の資産合計	1,301	1,311
固定資産合計	16,668	16,908
資産合計	39,039	41,743

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,528	5,155
短期借入金	87	—
1年内返済予定の長期借入金	348	600
未払費用	1,888	1,983
未払法人税等	673	566
繰延税金負債	109	158
前受金	2,361	3,529
賞与引当金	412	300
役員賞与引当金	59	42
製品保証引当金	609	524
受注損失引当金	121	121
設備関係支払手形	2	0
その他	1,081	793
流動負債合計	12,284	13,777
固定負債		
長期借入金	3,495	3,162
退職給付引当金	3,439	3,524
役員退職慰労引当金	128	—
繰延税金負債	235	242
資産除去債務	38	38
その他	13	155
固定負債合計	7,351	7,122
負債合計	19,635	20,899
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,496	14,496
資本剰余金	5,206	5,206
利益剰余金	7,577	8,386
自己株式	△1,280	△1,282
株主資本合計	25,999	26,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△119	△83
繰延ヘッジ損益	△1	—
為替換算調整勘定	△6,400	△5,807
在外子会社の年金債務調整額	△75	△78
その他の包括利益累計額合計	△6,596	△5,969
新株予約権	—	5
純資産合計	19,403	20,843
負債純資産合計	39,039	41,743

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	15,726	17,926
売上原価	9,891	11,238
売上総利益	5,834	6,687
販売費及び一般管理費	4,937	5,216
営業利益	896	1,470
営業外収益		
受取利息	17	19
受取配当金	3	4
持分法による投資利益	—	8
為替差益	8	22
その他	32	36
営業外収益合計	61	91
営業外費用		
支払利息	25	23
持分法による投資損失	9	—
その他	68	43
営業外費用合計	103	67
経常利益	855	1,494
特別利益		
固定資産売却益	4	76
貸倒引当金戻入額	26	—
その他	0	—
特別利益合計	31	76
特別損失		
固定資産処分損	0	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12	—
特別退職金	—	19
その他	0	0
特別損失合計	13	21
税金等調整前四半期純利益	873	1,550
法人税等	347	554
少数株主損益調整前四半期純利益	525	995
四半期純利益	525	995

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	525	995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	35
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	226	593
在外子会社の年金債務調整額	△3	△3
その他の包括利益合計	242	626
四半期包括利益	768	1,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	768	1,622
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	873	1,550
減価償却費	425	424
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△33	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3	△127
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△57	△108
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△17	△137
受取利息及び受取配当金	△21	△23
支払利息	25	23
固定資産売却損益(△は益)	△4	△75
売上債権の増減額(△は増加)	1,131	1,129
たな卸資産の増減額(△は増加)	△915	△1,548
仕入債務の増減額(△は減少)	△774	537
前受金の増減額(△は減少)	934	985
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12	—
その他	326	△418
小計	1,902	2,222
利息及び配当金の受取額	21	23
利息の支払額	△26	△24
法人税等の支払額	△57	△637
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,839	1,584
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期貸付金の回収による収入	100	—
有形固定資産の取得による支出	△397	△350
有形固定資産の売却による収入	5	86
無形固定資産の取得による支出	△40	△186
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△331	△451
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,050	△92
長期借入れによる収入	2,500	—
長期借入金の返済による支出	—	△99
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△124	△186
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,325	△379
現金及び現金同等物に係る換算差額	92	274
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,924	1,028
現金及び現金同等物の期首残高	8,102	6,308
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,027	7,336

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	製菓関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	13,169	1,819	736	15,726	—	15,726
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4	—	—	4	△4	—
計	13,174	1,819	736	15,731	△4	15,726
セグメント利益又は損失 (△)	1,491	△64	△63	1,364	△467	896

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△467百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	製菓関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	14,271	2,706	948	17,926	—	17,926
セグメント間の内部売上 高又は振替高	23	—	—	23	△23	—
計	14,294	2,706	948	17,949	△23	17,926
セグメント利益	1,841	124	15	1,981	△510	1,470

(注) 1 セグメント利益の調整額△510百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。